

日本比較文化学会 中部支部 平成 29 年度例会

(※敬称略)

I 例会日程 平成 30 (2018) 年 3 月 31 日 (土)

II 例会スケジュール 13:00~17:00

- ・ 12:30~ 受付
- ・ 13:00~ 開会の挨拶 (中部支部長: 澤田 敬人)
- ・ 13:00~ 勉強会
- ・ 14:20~ 休憩
- ・ 14:25~ 研究発表
- ・ 16:45~ 休憩
- ・ 16:50~ 総会
- ・ 17:00~ 閉会の挨拶 (中部支部副支部長: 白鳥 絢也)

III 会場までのご案内

場所: 名古屋国際センター 5F・第 4 会議室

〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目 47 番 1 号 名古屋国際センター

電話 052-581-0100(代表)



交通案内: 名古屋駅から東へ徒歩7分

※www.nic-nagoya.or.jp/japanese/nicnews/aramashi/nicaccessより転載

勉強会

名古屋国際センター 5F・第4会議室

3月31日(土) 13:00~14:20

テーマ

絵画とジェンダー

水町 いおり (中京大学)

古来より多くの絵画に女性が描かれてきた。そしてその女性たちは、自らの肢体を無防備に投げ出す裸体であることが多い。「なぜ女性は裸体として描かれたのか」という疑問をもとに、本発表では、とくに15世紀から20世紀におけるヨーロッパ絵画を取り上げ、ジェンダーの視点から考察を試みる。

そもそも絵画には、鑑賞を楽しむ「娯楽性」と、社会性を帯びた「情報伝達的手段」という2つの側面がある。歴史的に見ると、ギリシャやローマなどの「国家」の出現により、絵画は権力と深く結びつき、「娯楽」としての役割に加え、権威の象徴、あるいは国家のプロパガンダとして情報を個人に届けるためのツールとなった。これ以降、絵画と社会と個人は、互いに影響し合いながら、さまざまな歴史的変遷をたどって現在に至る。とくに絵画は、社会風俗、社会風潮、それぞれの時代に特徴的な価値規範などを反映した、いわば「歴史的史料」として存在している。したがって、絵画をジェンダーの視点で分析することは、女性の社会的地位の変遷、男性が女性を見るまなざしの変容、ジェンダー規範の成立と衰退のプロセスなどを明らかにし、多くの知見を私たちに与えるだろう。

本発表では、まず、第1章で、人々と絵画の関係について歴史的な分析を行うこととする。次に、第2章では、絵画に見られるジェンダー性について言及し、最後に、第3章では、女性の画家たちの作品を時系列ごとに紹介し、女性画家とジェンダー、フェミニズム運動についても考察していきたい。

なお、本発表は、中部支部例会の勉強会の位置づけである。本発表を基礎研究とし、勉強会では、「トランスジェンダーと絵画」、「絵画と写真」、「写真と映画」などのテーマで議論を行いたい。その際、2018年1月26日にマンチェスター市立美術館において行われた『『ヒュラフとニンフたち』(ウィリアム・ウォーターハウス作)の撤去』というニュースを取り上げ、議論の手がかりとしたい。(参照 Manchester Art Gallery, Presenting the female body: Challenging a Victorian fantasy)

研究発表

名古屋国際センター 5F・第4会議室

3月31日(土) 14:25~16:45

※発表時間は、研究発表1件につき20分です。(うち発表15分、質疑応答5分)

司会：大崎 洋 (愛知学泉大学) 白鳥 絢也 (常葉大学)

14:25~14:45

発表題目

日本語母語話者とインドネシア人スダ語母語話者の「断り」発話の対照研究
—意味公式の出現パターンの分析—

ノフィア ハヤティ (金沢大学大学院)

概要 本発表は両母語話者の「断り」発話で使用される表現の出現パターンおよびその内容における差異を分析し、両母語話者の「断り」発話の特徴を明らかにすることを目的とする。

14:45~15:05

発表題目

国際化社会に生きる青少年の共生を目指した教材モデルの開発に関する研究③
—ブラジル現地調査の経過報告—

白鳥 絢也 (常葉大学) 津村 公博 (浜松学院大学) 澤田 敬人 (静岡県立大学)

概要 ブラジルの教科書事情及び教科書の内容について、現地調査の一部を交えつつ紹介する。本研究は、日本の子どもとブラジルの子どもの両者が相互理解するための教材モデル(学習材)を構築することを目指したものである。

15:05～15:25

発表題目

小学校現職教員を対象とした「免許法認定講習（中学校・英語二種）」の開設
ー地域の特性を生かした常葉大学の試みー

白鳥 絢也（常葉大学）

概要 小学校での英語教科化、小中一貫教育の推進にともない、小学校現職教員を対象とした免許法認定講習（中学校・英語二種）を開講した常葉大学の試みを紹介する。

15:25～15:45

発表題目

韓国憲法用語に関する予備的考察

樋口 謙一郎（椋山女学園大学）

概要 応募者は現在、大韓民国の1948年憲法における外来用語の採用に関する検討を行っている。本発表では、当時の基礎的資料から考察される憲法用語の受容をめぐる論点を整理し、研究の深化を図る契機としたい。

15:45～16:05

発表題目

“Madam Zilensky and the King of Finland”
ーメトロノームを境界として現実と虚構の世界を行き来する
マダム・ツィレンスキーについての考察

岩塚 さおり（名城大学）

概要 「マダム・ツィレンスキーとフィンランドの王様」において、マダム・ツィレンスキーが「メトロノーム」の登場を境界として、虚構と現実の二つの世界を行き来していることを、フロイトの「喪とメランコリー」の視点から検証していく。

16:05～16:25

発表題目

医療系大学における初年次英語多読実践の教育的意味

山本 美津子（京都医療科学大学）

概要 本発表では、英語への苦手意識や基礎能力不足を抱える大学初年次の多くの医療系分野の学習者が、多読を実践することで英語学習への動機づけを高めた調査結果を報告する。

16:25～16:45

発表題目

地縁組織の幸福に関する一考察—連合自治会長へのアンケート結果から—

大崎 洋（愛知学泉大学）

概要 地縁組織として大きな存在である、自治会の活動を意義あるものにするため、発表者の住む地域5学区の連合自治会長に対して実施した「地域活動・幸福に関するアンケート」の結果から、地縁組織の幸福について考察する。

IV 総会（16:50～17:00）

【議題】

1. 会員数報告
2. 平成30—31年度役員等人事
3. 平成30年度事業計画
4. 学会誌『比較文化研究』の編集について

懇親会

本支部会終了後、「懇親会」を予定しております。（17時30分～）

（会場から徒歩3分『世界の山ちゃん 名古屋駅東店』飲み放題込み3,000円のコース）

当日会場で申し込みを受け付け、人数を確定します。